

周南市ボートレース関連施設 施設分類別計画



平成30（2018）年9月
（令和5（2023）年3月改訂）
周南市ボートレース事業局

目 次

第 1 章 本計画の目的.....	1
第 2 章 施設の設置目的と経緯.....	1
第 3 章 対象施設の一覧.....	2
第 4 章 施設の現状と課題.....	4
第 5 章 今後の施設の方向性.....	7
第 6 章 計画期間.....	8
参考資料.....	9

第1章 本計画の目的

周南市ボートレース関連施設分類別計画（以下「本計画」という。）は、本市の「ボートレース関連施設」について、今後の施設の方向性を示すものです。

第2章 施設の設置目的と経緯

1 設置目的

ボートレース関連施設は、モーターボート競走事業により得られた収益をもって地方財政の改善を図るために設置した施設です。

2 経緯

昭和20年（1945年）5月と7月の2度の空襲で徳山の市街地が壊滅し、戦災復興のための財源を確保するため、モーターボート競走事業に参入することを決定し、昭和28年（1953年）8月に開設しました。

これまでに、総額700億円以上を一般会計に繰り出し、戦災復興事業を始めとし、動物園、文化会館、総合スポーツセンターの整備などまちづくりに役立ってきました。

平成26年度には周南市子ども未来夢基金が設立され、モーターボート競走事業の収益が子ども医療費の助成など、将来を担う子どもたちの施策に活用されています。また、令和3年度からは、子ども未来夢基金に加え、地域振興基金、公共施設マネジメント基金等にも繰出しを行っています。

第3章 対象施設の一覧

本計画の対象となる施設及び位置は次のとおりです。

図表1 対象施設

No	施設分類	施設分類	建築年	地区
1	その他	ポートルース関連施設	昭和55～（1980	櫛浜等

図表2 構成施設一覧

NO.	施設名	所在地	地区
1	本場	周南市大字栗屋1033番地	櫛浜
(1)	中央スタンド		
(2)	総務台棟		
(3)	西スタンド		
(4)	東スタンド		
(5)	事務所棟		
(6)	競技棟		
(7)	選手管理棟		
2	外向発売所	周南市大字栗屋1022-51	櫛浜
3	オラレ徳山	周南市銀座二丁目20番地2(山中ビル1階)	徳山小校区
4	オラレ田布施	熊毛郡田布施町麻郷3925-31	市外

図表3 本場配置図



図表 4 施設位置図

○ 本場・外向・オラレ徳山



○ オラレ田布施



第4章 施設の現状と課題

1 サービスの現状

平成23年（2011年）2月よりモーニングレースの発売を開始し、好調であることや、電話投票の普及などによりボートレース業界全体の売上が向上していることから、周南市ボートレース徳山の年間売上額も順調に伸びています。

それに伴い一般会計への繰出しも増えており、令和2年度は13億円、令和3年度は過去最高の30億円の繰出しを行いました。

図表5 <周南市ボートレース徳山 売上額の推移（平成23年度～令和3年度）>

（単位 円）

年度	売上額	繰出金
H23	21,175,330,000	0
H24	26,931,362,100	30,000,000
H25	24,214,862,500	70,000,000
H26	26,942,125,100	70,000,000
H27	33,606,909,100	90,000,000
H28	38,218,015,000	170,000,000
H29	43,634,258,400	170,000,000
H30	52,017,708,700	270,000,000
R元	64,186,298,100	700,000,000
R2	83,551,561,600	1,300,000,000
R3	82,661,470,300	3,000,000,000

2 各構成施設のサービスの現状

(1) 本場

本場は、周南市ボートレース徳山でのレース開催をするために必要な機能を備えており、一般の方がレース観覧を行うための施設として、各スタンドを設置しています。

中央スタンドは、執行本部、審判室、番組編成室等のレースを執行するための心臓部と言える機能を有する施設となっています。

そのほか、観覧デッキ、明るく開放的なイベントホール、売店、観覧席、女性専用ルーム「すなっちシート」、キッズルーム、特別観覧施設「ROKU」などを整備しており、全体的に多機能かつコンパクトな建物となっています。

総務台棟にはテレビ室、集計センターといったレース執行に欠かせない機能が備わっており、一般の方が利用することはありません。

西スタンドは一般観覧席、有料指定席、ロイヤル室があり、西スタンド正面の水面に位置する第一ターンマークでの攻防を楽しめるようになっています。ほかに、食堂やキッズルームなど滞在に必要なサービスを提供しています。

東スタンドはイベントホール、観覧席がありますが、電話投票の普及等により本場の来場者が減少していることから、通常は開放しておりません。

現在は「あそらぼ」等の本場来場を促進するための各種イベントの開催場所として使用しており、SG レース等で多くの来場者が見込まれる際には観覧所として使用しています。

事務所棟、競技棟、選手管理棟はレース開催を行うための事務執行や開催期間中の選手滞在場所として使用しています。一般の方に直接サービスを提供する建物とはなっていません。

(2) 外向発売所

年間で最大360日営業し、1日最大16場のレースを発売しています。施設内には有料指定席8席があります。

(3) オラレ徳山

年間で最大360日営業し、1日最大11場のレースを発売しています。

(4) オラレ田布施

年間で最大360日営業し、1日最大8場のレースを発売しています。施設内には有料指定席10席があります。

3 建物の現状と課題

建物の現状は次のとおりです。なお、自主点検及びバリアフリーの状況の詳細含めた建物の現状は、巻末に【参考資料1】として添付します。

図表6 建物の現状一覧

↓点数が高いほど劣化が進行

No.	施設名	主たる建物													
		床面積 (㎡)	建築年度	主構造 / 法定耐用年数	法定耐用年数	耐震性	総合劣化度	バリアフリーの状況						備考	
							対応	該当	土砂	洪水	高潮	津波			
1	中央スタンド	3,289.62	2017	S /31年	未経過	新耐震	15.30	全部対応					2~5m	0.3~1m	一部6階建
2	総務台棟	979.82	2017	S /31年	未経過	新耐震	15.30	一部対応					2~5m	0.3~1m	一部2階建
3	西スタンド	7,404.72	1999	SRC /38年	未経過	新耐震	29.20	全部対応					2~5m	0.3m未満	4階建
4	東スタンド	11,930.42	1981	SRC /38年	未経過	新耐震	45.80	一部対応					2~5m		3階建
5	事務所棟	1,871.53	1991	RC /50年	未経過	新耐震	34.80	一部対応					2~5m	0.3~1m	2階建
6	競技棟	2,705.30	1992	RC /50年	未経過	新耐震	34.00	一部対応					2~5m	0.3~1m	2階建
7	選手管理棟	1,407.56	1991	RC /50年	未経過	新耐震	35.50	一部対応					2~5m	0.3~1m	2階建
8	外向発売所	1,022.75	2011	S /31年	未経過	新耐震	21.30	全部対応					2~5m	0.3m未満	平屋建
9	オラレ徳山	279.80					-	全部対応	なし						1階部分テナントを賃借
10	オラレ田布施	314.00	2016	S /31年	未経過	新耐震	16.30	全部対応					2~5m	0.3~1m	平屋建

※自主点検は毎年実施

※構造：SRC（鉄骨鉄筋コンクリート造）、RC（鉄筋コンクリート造）、S（鉄骨造）、W（木造）

※法定耐用年数は地方公営企業法施行規則別表第2号に定める基準による

※本場の一部は借地

中央スタンド、総務台棟は設置して間もないため大きな課題はありません

西スタンドは、大きな問題は抱えていません。レース観覧を行うメインの建物となるため、なるべく閉鎖期間を設けずに、必要な改修を行っていくことが課題です。直近では、グループ用の観覧席がないため、利用者数の少ない1階投票所を改修し、新たにグループ席を設ける計画があります。

東スタンドは建築から40年が経過した最も古い建物です。令和2年度から令和3年度にかけて、安全対策として耐震改修を実施しました。しかし、スタンド内の各設備すべての更新を行えたわけではないため、今後の利用計画を適時検討し、必要な改修を行っていくことが課題です。

事務所棟、競技棟、選手管理棟は同時期に整備した建物ですが、設置から30年を経過しているため老朽化が課題です。今後は現状の建物を維持するため、空調や配管類など改修を行う計画があります。

外向発売所は大きな課題はありませんが、年間360日の営業を行うことから、機械設備の稼働時間が通常より長く、早めの更新計画を立てる必要があります。

オラレ徳山はテナントであるため、建物の課題検討の対象外とします。

オラレ田布施は設置して間もないため大きな課題はありません。

第5章 今後の施設の方向性

1 施設の方向性の検討、基本的な考え方

モーターボート競走事業施設については施設の性格上、本市作成の「機能の評価・検証シート」による一次評価は項目がそぐわないため実施しません。

ボートレース徳山の各施設は、東スタンド以外は新耐震基準で建設しており、東スタンドについても、耐震工事を完了していることから、全てのモーターボート競走事業施設を『継続利用』と判断します。

各施設で求められるサービスや必要な機能は、時世やボートレース業界での方向性等により変化することから、適時利用方法や改修内容を検討し、適正な運用を行っていきます。

2 具体的な方針

現在確定している今後の具体的方針は次の表のとおりです。

西スタンド棟は若年層やファミリー層に向けたサービスの提供の一環として、1階を改修し、グループ向け指定席を新設する計画があります。

事務棟、競技棟、選手管理棟は老朽化の対応として、空調機器の更新や配管ライニング、外壁・屋上改修等を実施する計画があります。

なお、表で示した内容は、本計画対象施設の現況を踏まえた現時点の想定であり、今後の社会経済情勢の変化や財政事情等により、見直しを行うことがあります。

図表7 具体的な方針と実施時期（予定）

No.	施設名	主たる建物							総合評価	対策の内容(大規模修繕・改修、更新、解体等)					
		築年数	構造/法定耐用年数	法定耐用年数	耐震性	総合劣化度	バリアフリーの状況	ハザードマップの状況		R5	R6	R7	R8	R9	
1	中央スタンド	5	S / 31年	未経過	新耐震	15.3	全部対応	高・津	継続利用						
2	総務台棟	5	S / 31年	未経過	新耐震	15.3	一部対応	高・津	継続利用						
3	西スタンド	23	SRC / 38年	未経過	新耐震	29.2	全部対応	高・津	継続利用	1階グループ席設置等					
4	本場	東スタンド	42	SRC / 38年	未経過	新耐震	45.8	一部対応	高・津	継続利用	SRC築後40年経過				
5		事務所棟	31	RC / 50年	未経過	新耐震	34.8	一部対応	高・津	継続利用	RC築後30年経過 大規模改修 (空調、水回り、外壁等)				
6		競技棟	30	RC / 50年	未経過	新耐震	34	一部対応	高・津	継続利用	RC築後30年経過 大規模改修 (空調、水回り、外壁等)				
7		選手管理棟	31	RC / 50年	未経過	新耐震	35.5	一部対応	高・津	継続利用	RC築後30年経過 大規模改修 (空調、水回り、外壁等)				
8		外向発売所	11	S / 31年	未経過	新耐震	21.3	全部対応	高・津	継続利用					
9	オラレ田布施	6	S / 31年	未経過	新耐震	16.3	全部対応	高・津	継続利用						

* 法定耐用年数は地方公営企業法施行規則別表第2号に定める基準による

第6章 計画期間

本計画の計画期間は、令和9年度までとします。

なお、施設を取り巻く環境の変化や政策的な事情などにより、必要に応じて本計画を見直すこととします。

周南市ボートレース関連施設 施設分類別計画

平成30（2018）年9月

（令和5（2023）年3月改訂）

周南市ボートレース事業局ボートレース管理課
〒745-0802 周南市大字栗屋 1033

電 話 0834-25-0540

F A X 0834-26-1265

電子メール boatrace-kanri@city.shunan.lg.jp